

RYLA



ロータリー青少年指導者育成プログラム（ロータリー章典2020.01 41.080 抜粋）

- ロータリー青少年指導者養成プログラムは、「RYLA」としても知られており、1971年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- RYLAプログラムは、異なる成熟度のレベルとプログラムのニーズに合わせるために、14歳以上の子供および成人の異なる年齢層を対象とする。
- ロータリー青少年指導者養成（RYLA）プログラムは、地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人および職業人としての能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設ける。
- ロータリー青少年指導者養成プログラムの目標は次の通りである。
 - ロータリーが若者を尊重し、かつ、若者に関心を抱いていることを一層明らかにすること。
 - 選ばれた若いリーダー、およびリーダーとなる素質のある若者に研修を経験させ、責任ある有能なボランティアの若いリーダーとなるよう激励し、援助すること。
 - 若者による若者への絶えざる、力強いリーダーシップを奨励すること。
 - 若者のリーダーとして地域社会に尽くしている多くの若い人の優れた資質を公に認めること。
- すべてのRYLAプログラムは、以下の主題を含む中心的カリキュラムを含むべきである。
 - リーダーシップ（指導力）の基礎
 - 良きリーダーの倫理
 - 効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーション（伝達力）の重要性
 - 問題解決と対立管理
 - ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何をしているか
 - 自信と自尊心を培うこと
 - 地域市民、世界市民となるための要素
 - 上記に併せ、地元と関連があり、地元の慣習にふさわしい方法で取り組まれている問題を考察すること。
- RYLAに関わりのあるロータリアンは、次のことを行うよう奨励されている：
 - 他団体からの候補者、ならびに社会的、経済的に恵まれないがリーダーとしての資質を備えた若者を含め、リーダーシップ育成の機会になかなか恵まれない者をRYLAプログラムに招待する。
 - RYLAプログラムの参加者がこれからの活動にも引き続き関わるよう、今後のRYLA活動の企画に参加させ、ロータリー学友として参加するよう奨励す。
- RYLAセミナーは、RYLAに関与するロータリアン同士の情報交換を促進し、効果的なRYLAプログラムについて、地区RYLA委員長、地区RYLA委員、およびRYLAに関心のあるロータリアン同士で情報を共有するため、地区およびゾーンで実施すべきである。

参考資料①



RYLA

ロータリー青少年
指導者養成プログラム



※ 参考資料

- (左画像) RYLAの手引き
- RYLA認定証
(My Rotary からダウンロード可)

参考資料②役割と責務 アイデアに富んだRYLAを計画する

- 元RYLA参加者、保護者、教師、地域社会のリーダーに連絡し、変化し続ける社会にふさわしいRYLAプログラムの実施方法について意見を聞く。
- 若いリーダーの育成を重視する。これらのリーダーが多様性を尊重し、持続可能な変化をもたらし、奉仕の精神に満ちた世界市民となるよう取り組む。
- 異なる年齢層の若者に、さまざまな形態のRYLAプログラムを提供する。
- リーダーシップ研修に付随して、争いの解決方法についての研修も提供する。
- 専門的能力の開発を重視し、ロータリーを通じて地域社会に奉仕する機会を提供する。
- リーダーシップの育成と職業研修を同時に行い、若者が自分の能力を発見してスキルを磨けるよう支援する。
- 支援の行き届いていない地域の若者の参加を促し、これらの若者が地元に変化をもたらす活動家となれるよう支援する。
- 身体的・知的障害のある人びとも参加できるRYLAを実施するために、地元の専門家に協力を求める。

2020-21年度 R Y L A 委員会予定事業

RYLAプログラムへの会員の理解を深める為、地区内各クラブへのPR活動当地区におけるRYLAの歴史と問題点を明確にし、実施の可能性を検討する

※次年度開催への模索研究。

※地区大会（新世代交流会）への参加・お手伝い。

※委員会開催日 各月1回（第2土曜日午前中開催予定） 必要時（随時）